

1. 件名：北陸電力株式会社の志賀原子力発電所2号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和5年1月16日（月）16時05分～17時00分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：野田企画調査官、海田主任安全審査官、大井安全審査専門職

北陸電力株式会社：藤田執行役員 他8名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<本年1月11日提出済>

・断層oに関する追加調査計画及び進捗状況

時間	自動文字起こし結果
0:00:05	あ、そうか。
0:00:08	i s お願いします。
0:00:10	はい。お疲れ様です。原子力規制庁の大井です。
0:00:14	それではですね北陸電力との面談を開始したいと思います。本日、本日は断層に関する追加調査計画及び進捗状況、
0:00:24	1月11日にですね、提出いただいた資料に基づいて、北陸電力の方からご説明お願いいたします。
0:00:35	はい。北陸電力の木村です。それでは資料の方に基づきましてご説明させていただきます。
0:00:42	この資料は、昨年末の12月23日、第1105回審査会合のときに、断層に関する、
0:00:53	追加調査計画というものをお示しさせていただいております。
0:00:57	その時にお示ししたものが、黒字で書かれております。1ページ目の黒字で書かれております。データ拡充の一番から6番になりますけども、
0:01:10	このときに、審査会合で、コメント、
0:01:14	受けたコメントを踏まえまして、データ拡充の7番と8番、村崎字で書かれたものを、さらに追加をしております。
0:01:24	このデータ拡充の目的、それから内容として、まず、
0:01:31	すでに完了しているものもございますので、完了しているものについては、その概要、
0:01:39	進行中のものについてはその進捗状況について、一番右から二つ目の欄に記載をしております。
0:01:48	それでは、上から順番に、
0:01:51	拡充の進捗状況、
0:01:55	内容と進捗状況についてご説明させていただきます。
0:01:59	まず、
0:02:01	一番上の
0:02:03	表の一番上の、
0:02:05	四つの調査ですけども、データ拡充、1、データ拡充2と、7、8につきましても、地形面の変位の有無に関するデータ拡充ということで、
0:02:16	調査計画を立てたものでございます。
0:02:20	このうち、黒文字のデータ拡充1、データ拡充につきましても、すでに調査を完了しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:27	データ拡充位置につきましては、段丘面調査ということで、断層を挟んで分布する高位段丘Ⅰ面において、火山灰や接触土壌等の有無を確認することにより、
0:02:38	この段丘Ⅰ面と判読した確度を高めるという目的で実施をしております。
0:02:47	その概要について、2の、
0:02:50	何の方に記載しておりますけども、断層を挟んで分布する高位段丘Ⅰb面において、約9.5万年前のK-Tz火山灰や赤色土壌を確認したことから、
0:03:02	本段丘Ⅰb面と判読したことと整合的であるということを確認しました。この調査については、昨年11月に調査を完了しております。
0:03:13	続いてデータ拡充の2番、岩盤上面調査、
0:03:17	これの目的は、地形面の標高に加えて、岩盤上面の標高データを追加で取得し、断層を挟んで同じ時期に形成された波食台の高度差の有無を確認するというものでございます。
0:03:32	これについても、調査、11月に終わっております、断層を挟んで分布する高位段丘Ⅰb年において、
0:03:39	岩盤上面構造を確認した結果、高度差は認められないと。
0:03:44	いう結果を、しております。
0:03:48	続きまして、紫字で書かれました、データ拡充、7番、これは1105回審査会合でのいただきましたコメントを踏まえて追加したものになります。
0:04:02	この目的は、地形面の高度を比較する断面性を設定するにあたり、檀サイズ及びセット面図を作成し、
0:04:11	断層周辺の地形面の傾斜方向等について確認を行うというものでございます。
0:04:17	これについては、檀サイズ及び設定レンズを現在作成中でございまして、2023年1月に完了する見込みとなっております。
0:04:29	続いてデータ拡充8番としまして、旧点線調査、
0:04:34	こちらは3十河の延長位置を境に、中位段丘Ⅰ面、高位段丘Ⅰa面及び1B面の旧汀線ほど、
0:04:44	関係ない評価について、有意な高度分布の差がないかということ、検討するものでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:52	それをさらに、必要に応じて、旧汀線高度のデータ拡充を実施するというものでございます。
0:05:00	この進捗状況につきましては、断層を周辺におい、
0:05:05	旧汀線分布の、
0:05:07	高度分布の検討を行うために、既存の地質、
0:05:11	調査データを整理して、必要に応じて、追加ボーリング等の実施を検討しているところでございます。
0:05:18	この調査については、2020、23年の2月に完了する見込みとしております。
0:05:27	続きまして、データ拡充の3、こちらは鉱物脈法に関するデータ拡充でございまして、追加ボーリングから作成した発見を観察することによって、最新面と交付税府との関係を確認し、
0:05:41	説明性の高いデータがえられた場合は、活動性評価の根拠として用いるというものでございます。
0:05:47	その進捗状況としましては、追加で作成しました8県からは、現段階では、最新面と、交付税額との関係が明確なデータはえられておりませんが、
0:05:59	これについては、継続的に実施するというものとしております。
0:06:05	次に、破砕部制度に関するデータ拡充ということで、データ拡充の4番、
0:06:13	こちらは実施済みの追加ボーリングにおきまして、コア観察、薄片観察を実施しまして、断層の
0:06:20	破砕部性状、層状構造や、明瞭な複合面構造の有無等について確認を行うというものです。
0:06:29	この進捗状況としましては、
0:06:32	調査は完了してございまして、10、
0:06:35	追加ボーリングが作成した8件の、
0:06:39	観察の結果、断層をの破砕部性状は、活断層である福浦断層とは異なり、
0:06:46	活断層である敷地内断層と類似するということを確認しました。
0:06:52	続いて、上限万の辺、
0:06:56	図等に関するデータ拡充としまして、データ拡充の5番ですけども、
0:07:00	こちらは、断層をに沿って認められる直線的な崖地形を、差別侵食地形と判断した根拠として、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:07	実施済みの追加ボーリングのコア試料を用いて、上下盤の
0:07:12	岩盤の変質の違いや、コーナンの差を示す定量的なデータを取得するという目的で実施したものでございます。
0:07:21	その進捗状況としましては、調査は昨年12月に完了しております、A断層をの上下盤の岩盤において、エクサルD分析を実施した結果、
0:07:32	断層をの上下盤で含まれる変質鉱物に違いがあることが確認されました。
0:07:38	それから針貫入試験を実施した結果、断層の下盤の岩盤は上盤の岩盤よりも相対的に軟質であることが定量的に確認されました。
0:07:50	続いて南端に関するデータ拡充としまして、データ拡充の6番。
0:07:55	こちらは、断層を南端と評価しているルートマップJにおいて、岩相分布や破碎部の有無等に関する地質学的記載を充実させるというものでございます。
0:08:09	の調査については、昨年11月に完了しております、ルートマップJの再観察を実施して、
0:08:15	確認された破碎部のスケッチ及び写真等のデータ拡充を実施しております。
0:08:23	次の2ページの方に、追加調査の、これらの
0:08:30	工程表をバーチャートで示したものを付けております。
0:08:35	ポーター拡充の1、2、
0:08:38	4、
0:08:40	6のものにつきましては、
0:08:43	昨年11月、
0:08:45	或いは12月に完了しております、現在実施中のものは、データ拡充、七、八と
0:08:54	3になります。
0:08:56	これらにつきましては、データ拡充、
0:08:59	7については、
0:09:01	笠松。
0:09:02	データ化で7と8と、3につきましては、2月に概ね完了するものと考えております、
0:09:12	ただ校正方法に関しましては、
0:09:16	まあまあ稼働したが、現状ではやられておりませんので、さらに、継続的に実施ということで、破線で、3月の方まで工程を引いております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:29	ですけれども、断層に関する資料取りまとめというのは、一番下の欄に、
0:09:36	記載しておりますけれども、2月の
0:09:39	中旬頃に鎮目大隅学校も加え、
0:09:44	Dだが、
0:09:47	そろい次第、データ、
0:09:51	資料の全体の取りまとめを行う予定としておりまして、それについては、2月中に資料を提出できるように、準備をしているところでございます。
0:10:05	3ページ以降は、参考でございまして、これ、
0:10:10	これまで説明いたしました、データ拡充1から8番の位置図を示しております。
0:10:16	3ページは、地形面の変位の有無に関するデータ拡充の一番と2番の位置図を示しておりまして、緑色の地点が、データ拡充1の段丘面調査の地点を示しております。
0:10:30	青色が、岩盤上面調査、データ拡充2、2番の地点を示しております。
0:10:37	次の4ページは、地形面の変位の有無に関するデータ拡充の7番と、8番の地点を示しておりまして、
0:10:47	データ拡充なの、檀サイズ説法面図を作成する範囲は、紫色の四角で囲った範囲、
0:10:55	こちらで実施する予定としております。
0:11:00	それから、旧汀線高度に関する地質データ。
0:11:04	に関するデータ拡充を実施する箇所は、丸で囲ったところでございまして、
0:11:12	それぞれ、旧汀線付近で、
0:11:15	長南のボーリングコア観察、既存のトレンチ観察、露頭調査、ボーリング調査等を計画しております。
0:11:26	それから5ページは、データ拡充の3番と、
0:11:30	番号6の地点を示しておりまして、
0:11:35	関係色と、青色のA地点は、公物法に関するデータ拡充の地点を、
0:11:45	456、4号の地点、
0:11:49	はピンク色で示しておりまして、6番、ルートマップJ Aの南端に関するデータ拡充の地点は、オレンジ色で示しております。
0:12:03	以上が地点の説明になります。
0:12:07	はい。資料の説明は以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:12	はい。
0:12:14	清町の方でご説明ありがとうございます。
0:12:16	それでは清町側から幾つか含めて、
0:12:22	最後、あと、私の方からですが、最後の5ページのところで、今簡単に色、
0:12:32	いろいろ説明がございましたが、少し
0:12:36	ここです、OSの5.5項というのは、一番上の、
0:12:43	データ拡充、ローマ数字3です。
0:12:46	薄片観察のところに、青字で、ポーリング真鍮と書かれていますが、
0:12:53	これについてなんです、位置図で見ますと、断層のですね、
0:13:02	確認されたルートマップJ Aより、すいません、檀のルートマップJよりは、北西側、北東側ではございますが、このダムですね、
0:13:12	このようにもちょっと、
0:13:14	要するに点線の部分と、断層の推定期間と、
0:13:18	1にあたるルーもので、この
0:13:22	要するに推定区間のところで5.5、苦心されてるということですが、これは見込みがあって、むしろ、
0:13:30	もうすでに結果が、いい結果が出てるとのこと。
0:13:34	というふうに、
0:13:37	考えてよろしいですか。
0:13:42	北陸電力が決まります。こちら、S5.5校といいますのは、
0:13:49	これから
0:13:51	学を屈伸しまして、現在屈伸中なんですけども、これから薄片を作成するというものでございまして、
0:14:01	天田、見込みといいますか、そういう
0:14:05	どのようなデータが出るかというもの、段階には至っていないというものでございます。
0:14:12	はい。
0:14:14	北陸電力の野原です。少し補足させていただきます。
0:14:18	あと薄片観察につきましてはこれまで、ダムの上流側でポーリングを行っていましたが、上流側の結果がこれまで示した通り、割れ目がたくさんありまして、なかなか説明性が高いデータがられていないという状況がございまして、
0:14:33	そういったことから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:35	これまで実際の断層を確認した位置よりも、南側にはなりますが、
0:14:40	ダムの下流側で、このS5.5というものをトライしてみようということで、今回、ボーリングを屈伸しております。
0:14:47	結果として、これまだわかっておりませんが、薄片化断層をとらえることができれば、薄片観察、鉱物脈法の説明性の高いデータを得るかトライはしてみますし、
0:14:59	仮に掘った結果、断層が、
0:15:01	想定深度までないという結果にもしなりましたら、ここまで延びていないというそういった使い方になるかと思えます。これにつきましては今現在調査中ですので、
0:15:12	このままでは、結果をお示ししたいと思います。
0:15:15	以上です。
0:15:18	清町の大井です。ご説明ありがとうございます。
0:15:21	まだ、
0:15:25	その断層があるかどうかというのは今後調査次第ですが、お考えということは理解できました。要するに導入側で打って、これまでは攻撃なく、
0:15:38	取り込みがちょっと時間あまりよくないベースが出てたけど、
0:15:45	そうですね、下流側でやることで断層の性状が少し、
0:15:48	いい方向のものがえられる可能性ということで、線を変えて、
0:15:55	いうお考えと、
0:15:57	先ほど、
0:15:58	ご説明がありましたように、何かまとめということにも使える。
0:16:03	いうふうな理解。
0:16:04	反対をしました。ありがとう。
0:16:08	この、
0:16:10	5.5 項について、衛藤側から追加でない。
0:16:23	引き続き、
0:16:26	オオイの方から確認させていただきます。
0:16:29	少し戻っていただいて 1 ページ。
0:16:33	今回の追加調査計画及び、
0:16:36	進捗状況ということで書かれてございますが、まずこれ確認ですが、
0:16:43	前回の会合資料のいわゆる 44 ページの

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:16:50	追加調査計画というところからどんなふうが変わったのかっていうこと等、
0:16:56	について、多分これ紫色で書かれてるところはデータ拡充だなど、ちょっと大きく変わったところということですが、1とか2とか見て調査内容を見ても、結構
0:17:08	例えば、
0:17:09	遠藤増調査とか、ファイブボーリング調査とか、調査内容も少し加わったりとか、
0:17:16	しているんですが、牧田井元というのはこの調査の過程で、もう11月調査完了書かれてますので、
0:17:24	もう、
0:17:26	すでに実施した調査の中ですでに検討調査というのをされたとか、そういうことで、そういう理解でよろしいでしょう。
0:17:33	それともしくはこれから、データ拡充8のところでは検討調査とか、旧汀線調査を、
0:17:40	その上でですね、いろんな時点で、
0:17:43	やるんですがその流れで、ついでに
0:17:46	年代とかもやるというような、そういうなんか土壌調査もすでにやっているのかどうかというだけをちょっと確認させて
0:17:56	は北陸電力スモリです。前回の会合時の調査家内容ですねここから、今回の面談資料を少し内容として細かくなっておりますけれども、これはこれからやるというわけではなくてですね、
0:18:08	前回会合でお示ししていた段階から、
0:18:12	非常に詳細に
0:18:14	調査手法を、丁寧にといいますか、詳細に書いたものが今回の面談資料という位置付けになっております。
0:18:22	また今回ですね3ページに、例えばデータ拡充12の詳細な位置をお示しさせていただいておりますけれども、こういったところをお示しする中で、
0:18:32	より詳細に火山灰分析を県土上でやったですとか、簡易ボーリングというところ詳細な調査内容、お示しした方がわかりやすいというところで、今回このような修正をさせていただきました。
0:18:44	以上です。
0:18:45	はい。1回、規制庁の大井です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:50	と、それとですね、
0:18:55	1 ページの地形調査のところ、
0:18:58	あ、すみません、データ拡充なの。
0:19:00	地形調査というところですが、これは今実際やってることとしまして、進捗状況にはダムサイド及びコメント作成中と書かれてございますが、
0:19:11	これは会合の議論を踏まえて断面線を、
0:19:15	さらに幾つか追加検討されたりしてるという、
0:19:20	理解でよろしい。
0:19:28	はい。北陸電力の野原です。
0:19:30	この地形調査につきましては、現在、審査会合のコメントを受けまして、SARSと説法本部を作っている最中になります。
0:19:39	その成果を、が出てきた段階で、それと照らし合わせまして、これまで示してきております既存の断面線が、そもそも説明性が高い。
0:19:51	方向なのか。
0:19:53	他は検討したいと思います。
0:19:54	私もできた接ポン酢等を見まして、追加で断念設定した方がいいか、そういったことも、今後検討していきたいと思ってます。
0:20:04	いずれにしても、なかなか断面線を、説明性が
0:20:08	高く、結果がえられない場合は、このデータ拡充 8 の旧汀線の調査の方、こういったコメントも受けておりますので、そちらの方ではどれに、データの方、
0:20:18	取得しますと、
0:20:20	説明はしていきたいというふうに思っております。
0:20:23	以上です。
0:20:26	衛藤尾上。
0:20:27	説明ありがとうございます。
0:20:29	団体率、
0:20:32	邪魔でコメントを使って、御社も三名が妥当であればこれから確認していく。
0:20:37	ということと理解しました。
0:20:43	今日は私の方からは、
0:20:51	と、4 ページ。
0:20:52	6 ページをお願いいたします。
0:20:55	床レイモ-旧汀線の特定都市、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:59	データを取得する場合の
0:21:02	場所が、丸で囲まれていて、
0:21:05	これは
0:21:08	要するに会合での
0:21:11	まだ、
0:21:13	中位段丘面や、101 で、
0:21:23	内縁標高しかなかった部分について
0:21:26	トライをしていただけるといことと、丸Cのところは、町田すいません
0:21:32	小谷野一井面についても待って囲われてるということですが、
0:21:36	あと理解しましたが、
0:21:39	これはまだ、
0:21:42	会合でも少し
0:21:47	ちょっとまだ取得できるかどうかは、
0:21:52	検討点、
0:21:54	ちょっとできない場合もあるというふうな、確かそういうお話もあったと思うんですが、
0:21:58	これは限度額が1回りたいということで、その丸の中でできない場合、できないところもあるというふうな、そういう理解です。
0:22:15	お母さんのキムラです。
0:22:19	この4ページに示しました、丸のところは、現在、
0:22:23	地権者、
0:22:25	交渉等、
0:22:27	行っているところでございますけども、
0:22:31	調査、
0:22:34	負担者交渉が完了して、すでに調査入っている地点もございます。
0:22:40	具体的に言えば、
0:22:43	田尾君。
0:22:44	一番、大坪がガム。
0:22:49	佐川。
0:22:51	Dとかが出ている箇所であつたところは、
0:22:59	前回の審査会の以降、地権者交渉を行いまして、
0:23:04	実施はできると、いうこと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:09	上がりましたので、調査を開始しております。それ以外の地点については、
0:23:14	街コンし本社交渉を行っている。
0:23:18	ところでございますけども、
0:23:24	今度、中段9一番、段丘1面の
0:23:30	ほとんどの地点は、
0:23:36	あっちゃさ、可能であるというふうに
0:23:45	情報をしておりますので、
0:23:49	順次調査に行っていく予定としております。
0:23:54	北陸電力の名倉です。ちょっと補足させていただきます。
0:23:59	当12月の審査会合を受けまして、もともと地権者さんの都合等で調査ができてなかった地点というのがいくつかあるというふうに言っておりました。
0:24:09	今回改めて、
0:24:11	交渉の中に、県、打ち合わせをした結果、
0:24:16	大半は地権者さんがOKもらって、調査可能な方向に進んでるんですが、1点だけ。
0:24:22	今年中位段丘1面の旧汀線付近にあります。サンセン'の、
0:24:29	澤。
0:24:30	書いてあると思います。
0:24:32	ちょっと断層大野南清の延長上にあると思いますが、
0:24:37	ここももともと地権者さんの都合でできてないところだったんですが、ここにつきましては、今回再度検討したんですが、やはり調査は難しいと。
0:24:48	ということで、ここにつきましては、ピンポイントでの調査データっていうのはちょっとえられないんですが、代わりにですね周りに露頭とかそういうものがございますので、
0:24:59	そういったものを通して、この3'段のデータについては補充していきたいというふうに考えております。
0:25:07	ただこの地点につきましては、今のところ、交渉は順調にいったらいいと。
0:25:12	いう状況でございます。
0:25:14	以上です。
0:25:17	規制庁の大井です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:19	ご説明ありがとうございます。
0:25:21	はい。ちょっと私の方として
0:25:24	最初勘違いしたかもしれませんが、会合ではこの当方で交渉、支援者とはもう当初できていなくて、
0:25:30	調査ができてないけどということで、改めて、
0:25:34	交渉していただいてということで難しいという話がなかった。
0:25:39	衛藤で先ほどの説明は概ね理解しました。
0:25:45	と、
0:25:54	そうです。あとちょっと本当細かいところで、
0:25:58	もう一つ、3ページ。
0:26:01	戻っていただいて、
0:26:07	ちょっとやっぱり県労働調査、どうしてもちょっと私、伺ってしまってあれなんですけど、結果調査っていうのはその、
0:26:14	快適にカプロとるとというような調査、
0:26:17	地図で示されてるAとかB。
0:26:21	Cというのはそれぞれの探求。
0:26:25	高位段丘の300タニだったりというところの年代をきちんと明らかにするためにサンプルをとるとというような、
0:26:31	そういうような位置図形が御まめということでよろしい。
0:26:38	北陸電力質問です。検討調査、手法としましては、ボーリング調査は基本的にボーリングマシーン機械を使って取っていくんですけども、検討調査は、細井本当に強めるような方。
0:26:51	上から体重を掛けまして、体重兎中で、
0:26:55	土を掘ると、
0:26:56	そんな事情をかけることで地中のサンプルを採集すると、そういう手法になっております。
0:27:03	ですのでボーリングのコアよりも、やはり遅いですし、
0:27:07	自重のさせるところまでしか採取できないというところがありますので、やはり例えば岩盤の標高を確認するということは、ある程度やっぱりやわらかくないと、最終できないですとか、
0:27:19	そういう制約がどうしてもあるんですけども、例えば火山灰を確認するために、土壌を採取するですとか、今回ですね、例えば県土壌という、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:33	国等の場所にありますけれどもここですと、比較的悪かったの風化して、岩盤が軟らかかったので、そこまで刺さって岩盤の方も確認できたと、こういったところを、
0:27:43	持ち運びながら、比較的容易に場所を移動できますし、
0:27:48	簡易にそういう試料採取できるというところで、この検討調査、何ポイントかでやってございます。以上です。
0:27:57	はい。
0:27:58	ご説明ありがとうございます。が、
0:28:01	ね。了解。
0:28:03	私の方から以上。
0:28:12	どうぞ甲斐さん。
0:28:15	規制庁のカイダです。私も、
0:28:19	ください。
0:28:22	3ページをお願いします。
0:28:25	これ私、今、この3ページのこの図とかの中で、
0:28:33	んなんですけど、まずあの、
0:28:35	檀総合のこの延長線。
0:28:40	線が今までこう、
0:28:42	こういう、この永井なかったんですけども、
0:28:45	ウワーツ
0:28:46	で、
0:28:47	この線をどういうふう書いてあるかな。
0:28:51	細かい点。
0:28:53	はい。
0:28:56	今南の方はちょっと更新ラインを伸ばす、
0:29:03	下の方で、
0:29:05	例えば5ページの図なんかは、以前から出ていたんで、
0:29:10	特化すると。
0:29:13	これ
0:29:14	5ページの方が
0:29:17	ダム of 堤体の掘削の、
0:29:22	こうなる。
0:29:26	曲がってるわけ。
0:29:30	東の方に向かって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:32	結構ぐっところ、
0:29:35	特性従来そこのところで、
0:29:38	私の方に曲げて書いてある。
0:29:41	必要があって、
0:29:42	ここは以前確認した時にはこのボーリングの、
0:29:46	をつなぐと。
0:29:47	こういうふうになったので、こういうふうに伸ばしてますっていう。
0:29:51	ことだ。
0:29:54	ここのトレースでいくと、3 ページ。
0:29:57	ちょっともう少し、
0:30:00	東の方に古いんじゃないかなと思う。
0:30:08	何でそういうふうに見えるだけなのか。
0:30:11	この、
0:30:12	ちょっと気になるのはだから、5 ページだと、
0:30:15	ここが例えば S Q の
0:30:19	を、
0:30:20	オオイ級でちゃんととらえられているというところもないような感じで延長が書いてあるけど、
0:30:28	3 ページになると、S Q には引っかかってこない。
0:30:33	ような形になる。
0:30:35	微妙なんです。
0:30:37	こういうもし東の方にもし不
0:30:40	ずっといた先の、
0:30:44	検討表とかっていうふうに思って、
0:30:47	東の方に行っちゃって、何かこう、
0:30:50	結構、
0:30:51	離れ離れとかあっちこっちの方に行っちゃうような、
0:30:55	そこら辺の線の描き方は、
0:31:05	北陸電力質問です。
0:31:08	こちらの線の引き方としましては、以前、ご説明させていただきました 5 ページ、
0:31:13	これ詳細な一番拡大した図面になっておりますけれども、これでいいますと、S、A 56 孔とウェス七、八個をつないだ線。
0:31:23	これを延長したという。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:26	考えて、続いて、延長位置を変えたというそういう考えでまず線を引いてございます。
0:31:32	この場合S Qと少し
0:31:36	下3ページのこのスケールですと、ちょっとずれてるように見えないかというようなご指摘ありましたで、こちらは確かにスケール、この3ページのスケールでいきますと、
0:31:46	この上杉にちょっとひっかからないような、行ってまして。
0:31:50	少しここ
0:31:52	正確に持たせてない。
0:31:56	河瀬ございまして、この5ページのこのトレースが、正確な行っておりますので、申し訳ございません。
0:32:03	3ページの方をちょっと
0:32:06	話スキームに今後修正させていただきたいと思います。失礼いたしました。
0:32:13	規制庁わかりましたまたそのあたり
0:32:17	いただいて
0:32:18	小俣はお願いします。
0:32:21	でしたらと思うと、また3ページ。
0:32:29	ここに今、3本ほど断面が書かれて、断面断面1のような、
0:32:36	線が書かれてるんですけど、
0:32:39	これ特に
0:32:44	次のページとかに、
0:32:48	ええ。
0:32:49	この三本の制定の、
0:32:52	まあまあ一応岩盤上面標高格段の1と書いてあるんですけど、
0:32:57	この位置付けっていうのがちょっとまとめていただきたいなと思って、
0:33:02	してますんで、
0:33:04	これが
0:33:06	前回の会合の資料で言ってる、何か複数断面この辺り、
0:33:11	うまくっていう
0:33:12	複数断面を検討した。
0:33:15	位置を検討した結果がこれなのか。
0:33:18	それとも小山がちょっと何て言う

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:33:21	そんなのか。
0:33:24	そこの辺を教えてくださいませんか。
0:33:30	はい、北陸電力スモリです。
0:33:32	この3ページの断面線、岩盤表面標高の比較の神田断面ですけれども、前回の会合資料で言いますと28ページ例えばですけども28ページに、
0:33:43	紫の四角で囲みまして、この範囲で、現海岸線に平行な方向で断面図の追加を検討すると。
0:33:52	書かせていただいた場所になっておりまして、この間、目的で引いた線というのが今回の3ページで言いますと、
0:33:59	と。
0:34:03	麻生が和田断層を直接横断している線とその南側の、
0:34:08	高井郷にも1項通るとF D8項、同様なこういった線。
0:34:13	岩盤斜面評価を比較していると。
0:34:16	これが先ほどの
0:34:18	審査会合の資料での紫の四角の、
0:34:21	範囲で検討した結果を今回お示ししております。
0:34:26	これは、この引いた考えとしましては書いてあります通り現海岸線と平行な方向でのこの断面を置いて、岩盤上面標高に高度差があるかないかと、そういったものを検討した結果になっております。
0:34:43	あ、規制庁の改善はわかりましたじゃ、いうことは前回の34ページあたりで、
0:34:51	複数断面かきまして書いてあってその、
0:34:56	具体的にどこかっていうのは、28ページ。
0:34:59	加来中出。
0:35:02	変更したっていうか
0:35:04	ここ、こういった複数の
0:35:06	断面を、
0:35:07	という
0:35:08	今、
0:35:11	ご説明だった。
0:35:14	こうあるでしょう。また、これに対してその残サイズとか、そういったもの、
0:35:19	肩書きとかして、ここ、
0:35:24	こういった方法とか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:27	だっていうところの説明も、
0:35:29	今後付け加わってくる。
0:35:31	考え。
0:35:35	北陸電力の野原です。
0:35:38	あと今後その設定面図ですとか檀サイズ用いまして、今、今日の資料の3ページでお示ししております断面性の方向が妥当かというのは、検討を行っていきたいと思います。
0:35:50	ちょっと今日示した、三本の断面線といいますのは、先ほど鷺見からの説明少し補足しますと、
0:35:57	岩盤斜面が、この断層を挟んで、と同じ標高だというデータがえられると、えられている場所、三本を示しております。
0:36:06	前回の審査会合で紫で囲ったはい。
0:36:09	こういうところにつきましては、岩盤上面はこだわらず、地形面の高さを比較するという意味で、よりたくさんの断面線を今後お示ししていきたいというふうに考えております。
0:36:20	あと複数しましては、複数示す断面といいますのは、今日の3ページで示している以外の測線についても、今後お示ししていきたいと思っておりますが、
0:36:30	岩盤乗務員の比較としてはこの三本が、現段階で獲られていると。
0:36:35	そういった状態になっております。
0:36:39	以上です。
0:36:41	施設の改善、あ、わかりました。今、金城でこれが、難波常務が同じような、
0:36:49	今後、
0:36:50	というのは、
0:36:53	可能性もあると。
0:36:58	今、ちょっと
0:37:00	ご回答と関連してるかも
0:37:04	もう、
0:37:05	今南の方はその2本というのが、前回の村崎枠の中のあたり、大体書いて、
0:37:11	けど、
0:37:13	下の方の、
0:37:15	一本離れたところにあるやつは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:18	前回の資料の右、
0:37:21	ページの村崎枠囲み。
0:37:24	その中でもない。
0:37:27	逆に村崎和久学校の中に、
0:37:33	おい。
0:37:34	面を対象にしたところの、
0:37:37	断面は、逆に、
0:37:39	ない。
0:37:40	この、
0:37:41	下の方はこう展開企業と違うところに女性が入って、
0:37:47	これはあれですか、ちょっと調査範囲を広げて、
0:37:57	はい、北陸電力の仲田です。
0:37:59	あと前回の 20 し、前回の審査会合の 29 ページで示したところにつきましては、衛藤現時点で、岩盤上面を比較できるデータがえられてないということで、今回はお示ししておりません。
0:38:14	一方で、データをより広範囲で取得するというのもございまして、
0:38:22	紫の範囲で示す、その複数の断面というところから外れておりますが、岩盤上部のデータ替えられましたので、今回この資料の 3 ページでは北側の測線を追加したと、そういった位置付けになっております。
0:38:35	ただ今後ですね、
0:38:37	例えばデータ拡充 8 の旧汀線の調査、
0:38:42	等を行っていく上で、
0:38:44	あと岩盤上部のデータも獲られていくという
0:38:48	可能性がございます。
0:38:50	そういった場合は
0:38:52	例えば資料 4 ページでお示しするような範囲で、岩盤上部のデータが獲られた場合につきましては、そういったものもお示ししていきたいと、いうふうに思っております。
0:39:03	以上です。
0:39:06	はい。制度の内容はわかりました。今、検討中であくまで今、この
0:39:12	現状の
0:39:14	考えてるところっていうのがあります。
0:39:17	駄目。
0:39:23	引き続きまた検討が進んだら、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:27	この辺り、
0:39:29	更新されるべきものかなと思いますんで、その調整ます。
0:39:37	今日は、
0:39:41	ちょっとまた、ひよっとしたら、
0:39:44	大井が言ってたこと。
0:39:46	かもしれませんが1ページ。
0:39:50	で、
0:39:53	データ拡充の
0:39:56	中ってというのがいかなって、地形調査ってというのが、
0:40:02	追加調査という形、地形調査、
0:40:09	これはさっきの話だと、ちょっと念のための確認なんで、
0:40:12	現場で何かこう調査をして、
0:40:15	じゃなくて、
0:40:16	当団体なりコメントなりを書いている
0:40:21	調査ってというのは、
0:40:24	資料の検討と。
0:40:27	詰めを作成している。
0:40:29	そういう意味で書いてある。
0:40:33	はい、北陸電力スモリです。はい。今カイダさんおっしゃる通りでして、このデータ拡充の中につきましては、
0:40:41	松尾亜紀子。
0:40:42	元に作成しましたサイズですとか相当年数、こういったものをベースに、雨の切り方ですとか、そういったところの検討を行うようは机上での検討という形になってございます。以上です。
0:40:58	規制庁のため、あ、わかりましたじゃん。
0:41:02	本店、
0:41:05	あと、もう一つこれも先ほど、
0:41:08	衛藤大岩1、
0:41:13	公園計画をして、505.5 っていうのは、今、
0:41:18	始めたっていうところにある。
0:41:21	これは今後作る。
0:41:23	で、
0:41:24	これ初めて、
0:41:26	移管版に

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:28	古作そこで持ってるんでこれ始めれば早い。
0:41:32	破断口でも出てくるかな。
0:41:35	場所でもあるんで、
0:41:36	もう、
0:41:38	断層らしきものが出てきたか。
0:41:43	あたりは、現状、もしわかれば、ちょっと教えていただき
0:41:47	終わったのはわからない。
0:41:54	迫力連絡質問です。こちらを図 5.5 項ですけれども、本当に掘り始めてそんなに日が経ってないというところもありまして、想定震度までも行っていないという状況。
0:42:04	ですので、まだその断層等に対応するものについては確認できておりません。以上です。
0:42:10	はい、わかりました現状通り。
0:42:16	私の今回は、
0:42:18	どうぞ。
0:42:27	規制庁の野田ですけど。
0:42:29	今、大井さんのカイダさんから、技術的なところは確認してもらったので、
0:42:37	私からは特に追加はないんですけど、
0:42:41	まずそうですね。
0:42:44	先月 23 日の原発の会合であったにもかかわらず、
0:42:51	コメントを踏まえた検討でありますとか、あとは、
0:42:55	旧汀線行動のデータ拡充のところは、もう地権者さんとの交渉始めてるということで、そういうふうにご対応いただいて、ありがとうございました。
0:43:07	はい。
0:43:08	そうですね。
0:43:13	ちょっと全体を振り返りながらまず 2 ページ目のところで、藤庁舎の進捗状況ということで、
0:43:22	今資料の提出が 2 月末になっているんですけど、
0:43:27	鉱物脈については、御社多分継続的にやられるということなんですけど、私個人的には 1 回のこの 2 月末のところで、良い点、
0:43:39	そうですね。活動性評価にられ、活動性評価に資するデータが見られるかやってないか、いわゆる、ここ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:49	これをターゲットとして、対応されるっていうのは、はい。
0:43:52	よろしいんじゃないかと思えますし、我々もそういうことで少し、3月以降のですね、ヒアリングでありますとか、審査会合の
0:44:04	人事というか、
0:44:06	をしている。
0:44:07	田井と思います。
0:44:11	藤3ページ目のところは、もう先ほど、
0:44:15	大井さんとか、カイダさんから、
0:44:17	そうですし、あと4ページ目のところも、はい。木村さんと野原さんの説明であって、
0:44:23	状況を承知しましたし、野原さんから追加で、L1メールのところですかね、に関するところで、3 棧橋ここだけちょっと、地権者さんとの関係で、データの拡充が難しいという
0:44:36	ご説明あったのでちょっと我々もそういったところも含めて、
0:44:42	地形の変位の有無を、どういう形で、
0:44:47	御社が説明して、我々としてそう、どういう形であれば、
0:44:54	その活動性評価に資するような形で、ロジックが増えるのかっていうところは少し頭の体操をしてくると思ひ
0:45:04	あと5ページ目のところは、はい。OS5.5項のところですかね、ボーリングの福土。
0:45:10	状況、先ほどスモリさんからまだ推定の進路に至っていないということでしたので、ここは、また断層があるのかなのか、あれば、そこから今度薄片っていう形にいくと思うんですけど、
0:45:22	ない場合は、逆にあれですかね、南端の止めのデータ各自ということで、北端と同じようなロジックで今後、
0:45:30	そうですね、断層の分布範囲が評価できるのかなと思っている。
0:45:37	このボーリングは、ちょっと
0:45:41	私一瞬左の図を見たときに、何のために使うのかなと思ってたんですけど、実は薄片を使いつつあった方にも活用できるっていう、
0:45:50	すごい、私のなんですけど、よく、
0:45:53	考えられたボーリング孔しかも、
0:45:56	あれですかね。
0:45:58	多分下流側なんで、当然そんな、
0:46:03	深く掘らなくても多分断層に使うんじゃないかと思うんで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:06	よく考えられた方が、
0:46:11	あと1点だけ確認させて、5ページ目で1点だけ確認させてもらいたいのは、判例の中で、一番下に断層位置っていうのでっていうことで、
0:46:21	これ、点線2種類と、これ実線で、
0:46:27	あるんじゃないかと思うんですけど、すいません細かいところで、ここいかがですか断層の位置のところ、実線と。
0:46:33	点線と。
0:46:35	ていうんすかね。三種類あるんじゃないかと思うんですけど、ここはいかがでしょう。
0:46:41	倉岡スモリです。申し訳ございませんおっしゃいます通り大坪ダム基礎掘削面、
0:46:47	ところはまさに実践になりますので、この凡例が抜けておりました。申し訳ございませんでした。
0:46:55	すごいさオダですスモリさんありがとうございますそうですね、あともう1個が、
0:47:02	これの敷地内のまとめ資料見ててもそうなんですけど、ということで、この実線っていうのはつまり断層を確認したところの実線があるそれは、
0:47:14	大津野川ダムの定款のところもそうですし、あとは、ボーリングA棟OSを、
0:47:23	656と。
0:47:30	もそうか。
0:47:32	ここでも、断層を確認してるんでそうすると、4ページの予定のところで、ちょっと写真がちっちゃくなっているんですけど断層のところで、
0:47:43	テーマのところは地震になってるんですけど、これ、
0:47:47	そう確認してるんで、底盤より、北東側、もう今、点線になってるところ、ここ、
0:47:55	断層確認実践じゃないかと思うんですけどここ、ちょっと越智さん、断層の確認と、その結果の示し方の考え方、確認させてもらっていいですか。
0:48:09	北陸電力スモリです。
0:48:11	この5ページの詳細な図面の方で線の引き方の考え方を説明いたしますけれども、大坪ダムの基礎掘削面で確認できた
0:48:21	ダムの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:23	規則する前の外径がかかっておりますけれども、この中につきましては、当時、肉眼で全線連続的に確認しておりますので、こちら実線で見てございます。
0:48:34	通常その副断層もそうなのですが、例えばボーリングとボーリングで、
0:48:40	2本で確認してその間が繋がっているというふう考えた場所につきましては、
0:48:45	単線化しました破線でつなぐような形で整理しております。
0:48:50	その先に、
0:48:53	亀井までの間の、要は推定区間につきましては点線と、そういう整理でございませう。
0:48:58	ここの5ページで言いますと、このダムの外径、基礎掘削の外径を引いてある中についてはすべて実線で書いておまして、
0:49:06	ここのS5とS758孔の間のボーリングの間は本来ですと、破線でつなぐんですが、途中、その基礎掘削面の範囲と、
0:49:17	重複してるところでございませうので、こちらは、その規則作面の体系のところまでは、
0:49:22	この、S56号と78の間であっても、実線でつないで、その間を破線、
0:49:30	ボックス内部と、そういう書き方今ここ、岩相確認位置のT部が、ちょっと重なって見えづらいんですけども、そういったルールで、実線、波線点線を書いてございませう。
0:49:42	これは、4ページの方になりますと、これスケールがかなり小さくなってそこまで反映しきれないというところもございませう、ちょっと
0:49:51	波線点線というところの書き分けというところが、5ページのルールが必ずしも合っていないようなちょっと書き方になってしまっておりませうので、この部分もちょっと資料の中で統一的に、
0:50:02	そういった線の種類のルールが図れるように、今後適正化させていただきたいと思ひます。以上です。
0:50:11	規制庁の織田です。坪井さんご説明ありがとうございました。はい。今の説明しね。実践後は選定せんで、使い方承知しましたので、
0:50:25	4ページちょっとスケジュールスケールとの関係で難しいかもしれないんですけど、敷地内のまとめ資料ちょっと今の考え方でもう一度私の方も確認してみますけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:50:37	坪井さんの方でも一応まとめ資料の方で、もうそういった考え方で、記載が統一されているか、整合性が図られているか、念のため確認していただければと思います。私も見つけたらお伝えするようにしたいと思います。
0:50:53	はい。藤社長、岩下衛藤。
0:50:57	どうぞすみません。
0:51:02	すみません浦さんがおっしゃる承知いたしました。はい。以上です。
0:51:08	はい。ありがとうございます。そしたら、今日のメーター資料の方ですけど、規制庁側から追加カイダサグチさん、ありますか。
0:51:20	で、現在事業につきましては、規制庁バッカーからは特に追加ありません、追加のコメント確認ありませんので、もし、北陸電力の方から、
0:51:32	特にご発言あればお願いします。
0:51:36	北陸電力藤田です。面談資料につきまして確認ありがとうございます。
0:51:41	面談によって明確になった部分あり、ありますがそれに対してしっかり対応していきたいと思います。以上です。
0:51:58	はい。それではですね、
0:52:02	これをもちまして北陸電力の面談を終了いたします。
0:52:06	お疲れ様でした。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。